

決算説明資料

2023年 3 月期

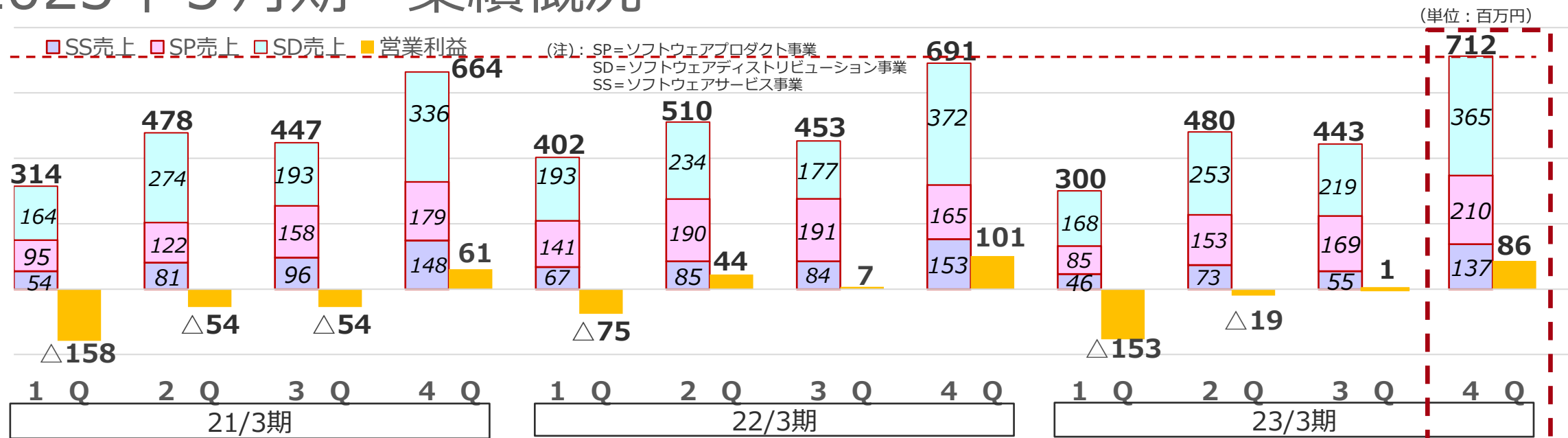
株式会社ユビキタスAI
代表取締役社長 長谷川 聡
2023年 5 月15日

Index

- 2023年 3 月期業績 概要
- セグメント及び製品分野別動向と取組
- 2024年 3 月期の業績予想と重点取り組み
- トピックス

2023年 3 月期業績 概要

2023年3月期 業績概況



- ・ コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢の影響により売上高・営業利益ともに前期を下回るが、下半期では、売上高・営業利益ともに前期と同水準まで回復

- 連結売上高：1,938百万円（前期比：5.8%減）、連結営業損失：84百万円（前期営業利益：77百万円）

- セグメント別概況

ソフトウェア
プロダクト事業

売上高
営業損失

619百万円
23百万円

前年第2四半期においてセキュリティ関連製品の大口案件で売上・利益を計上したこと、及びデータベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより、売上高・営業利益ともに前期を下回る

ソフトウェア
ディストリビューション事業

売上高
営業損失

1,006百万円
93百万円

ソフトウェア開発・支援ツール関連売上が増加、新規案件の引き合い増等に加え、一部事業の移管もあり、売上高は前期維持、営業利益は改善

ソフトウェア
サービス事業

売上高
営業利益

312百万円
32百万円

サプライチェーンへの影響による受託開発案件の期ずれ及び失注、車載機器関連のロイヤルティの減少により売上高・営業利益ともに前期を下回る

コロナ禍及びロシア・ウクライナ情勢による当社業績への影響

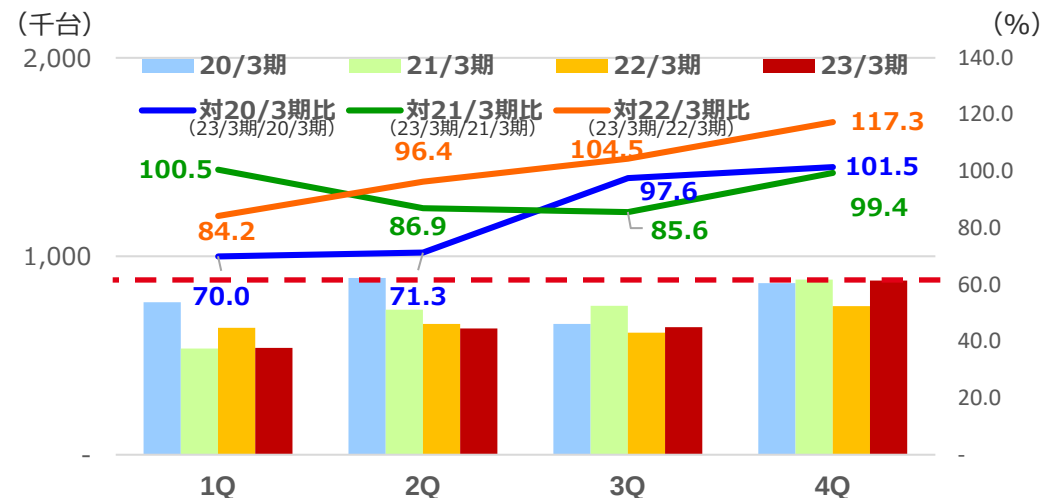
■ 車載機器関連

- 国内自動車販売台数は、上半期は前年を下回るも、下半期は前年を上回る
- 当社車載関連売上は、第1四半期では前年同期を下回るも、第2四半期以降ではほぼ前年並みに回復

■ 新規案件

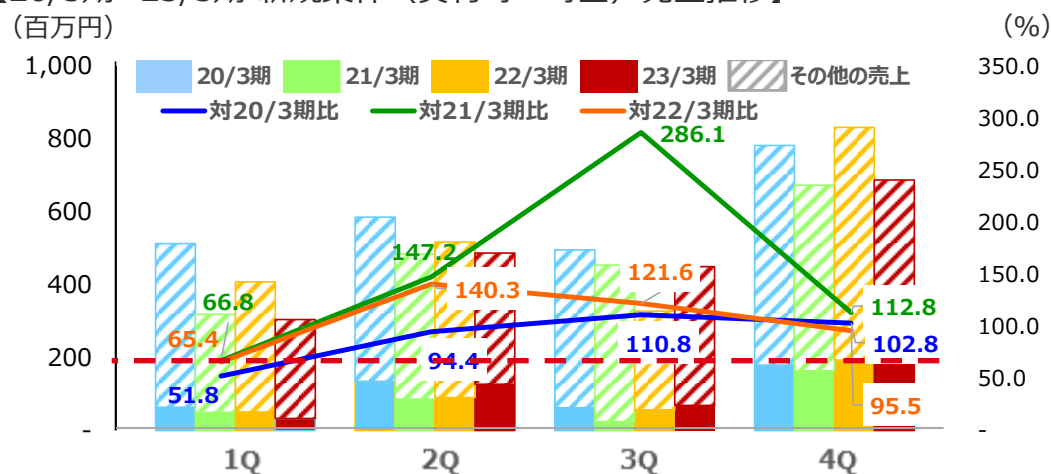
- 第1四半期は前年同期を下回ったものの、第2四半期以降は前年同期を上回り、コロナ禍前の20年3月期と同水準となる
- 新規問い合わせ・引き合いは増加基調にある

【20/3期~23/3期 自動車国内販売台数の推移】

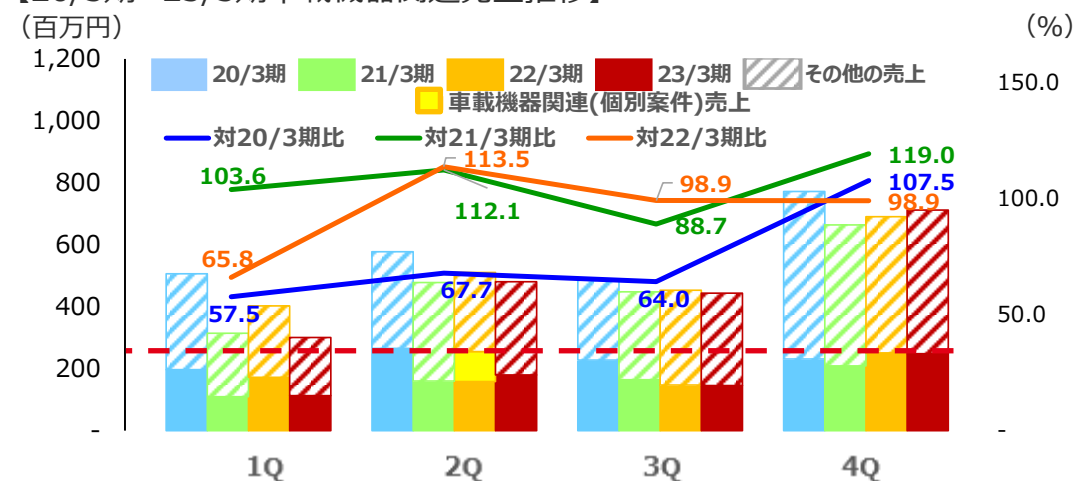


出典:一般社団法人 日本自動車販売協会連合会「新車・月別販売台数(登録車)」を基に作成

【20/3期~23/3期 新規案件（契約時一時金）売上推移】



【20/3期~23/3期車載機器関連売上推移】



前期比:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	23/3期 (連結)	22/3期 (連結)	増減率 (%)	20/3期 (連結)	増減率 (%)
ソフトウェア プロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ&OS	151	178	△14.9	127	19.1
	高 速 起 動	398	400	△0.5	412	△3.4
	デ ー タ ベ ー ス	69	111	△37.6	86	△19.7
	小計	619	689	△10.2	626	△1.1
ソフトウェアディストリビューション事業		1,006	977	3.0	1,290	△22.0
ソフトウェアサービス事業		312	390	△20.1	430	△27.5
合計		1,938	2,058	△5.8	2,346	△17.4

前期比:セグメント別売上及び利益

(単位:百万円)

		23/3期 (連結)	22/3期 (連結)	増減額	20/3期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	619	689	△70	626	△6
	セグメント利益	△23	136	△159	96	△119
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,006	977	29	1,290	△283
	セグメント利益	△93	△141	48	※1 △79	△13
ソフトウェアサービス事業	売上高	312	390	△78	430	△118
	セグメント利益	32	83	△51	※2 18	14
合計	売上高	1,938	2,058	△119	2,346	△408
	セグメント利益	△84	77	△161	※3 35	△119

(注) ※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 106百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 103百万円を含めております。

※3 上記ののれんの償却額 210百万円を含めております。

前期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位:百万円)

		23/3期 (連結)	22/3期 (連結)	増減額	20/3期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	619	689	△70	626	△6
	セグメント利益	△23	136	△159	96	△119
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,006	977	29	1,290	△283
	セグメント利益	△93	△141	48	※1 27	△120
ソフトウェアサービス事業	売上高	312	390	△78	430	△118
	セグメント利益	32	83	△51	※2 121	△89
合計	売上高	1,938	2,058	△119	2,346	△408
	セグメント利益	△84	77	△161	※3 245	△329

(注) 23/3期との比較利便性を考慮し、

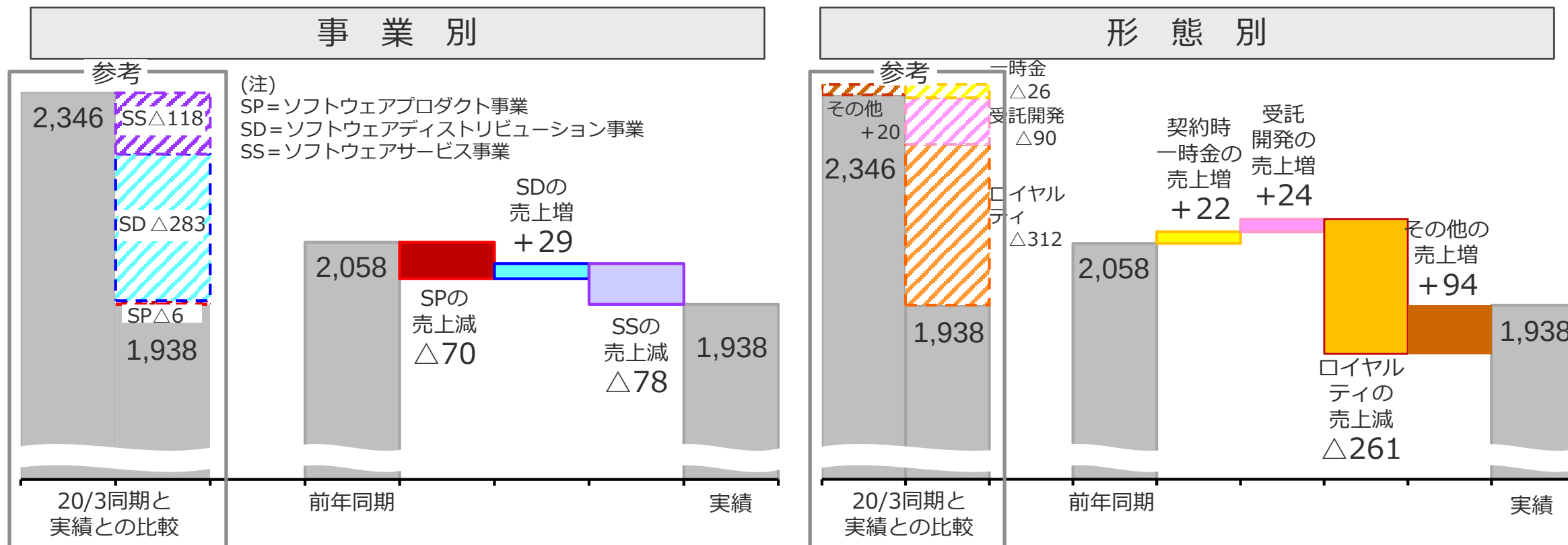
※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 106百万円を含めておりません。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 103百万円を含めておりません。

※3 上記ののれんの償却額 210百万円を含めておりません。

前期比：売上高

(単位：百万円)



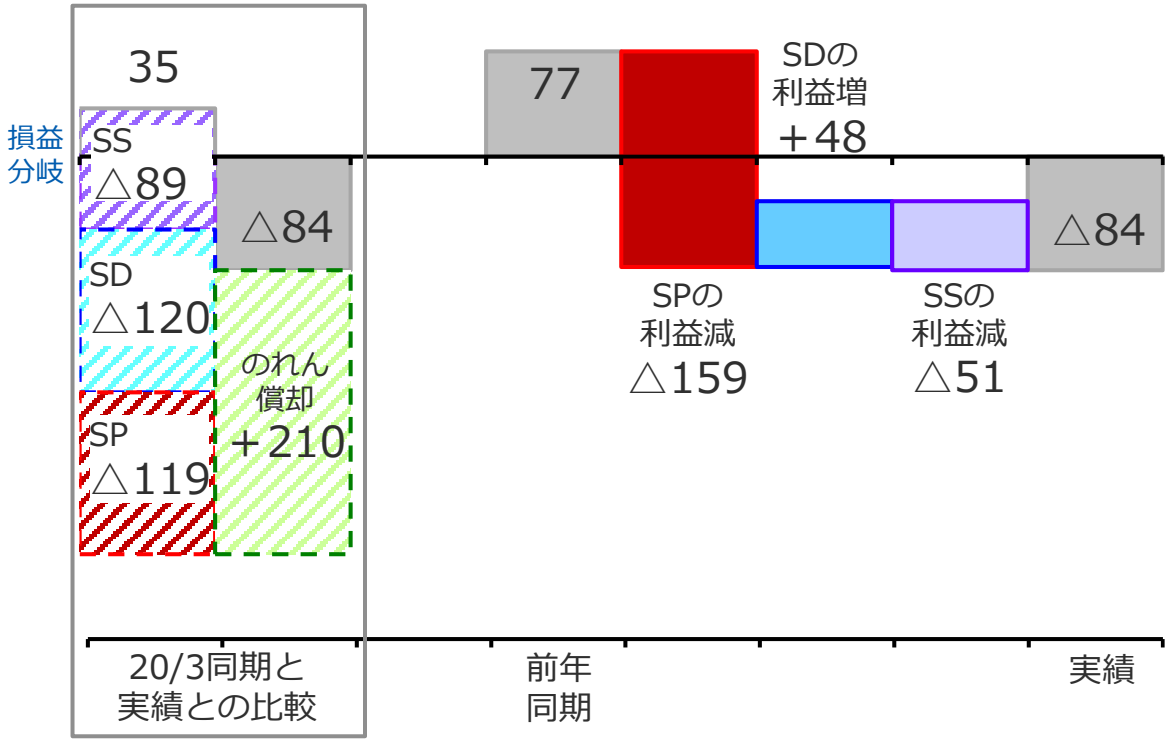
■売上高：22/3期を下回り、コロナ禍の影響を大きく受けた21/3期と同水準に

- SP事業：前年第2四半期においてセキュリティ関連製品の大口案件で売上を計上したこと、及びデータベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより減少
- SD事業：ソフトウェア開発・支援ツール関連売上と新規案件売上等により増加
- SS事業：サプライチェーンへの影響による受託開発案件の期ずれ及び失注、車載機器関連のライセンス使用料縮小により減少

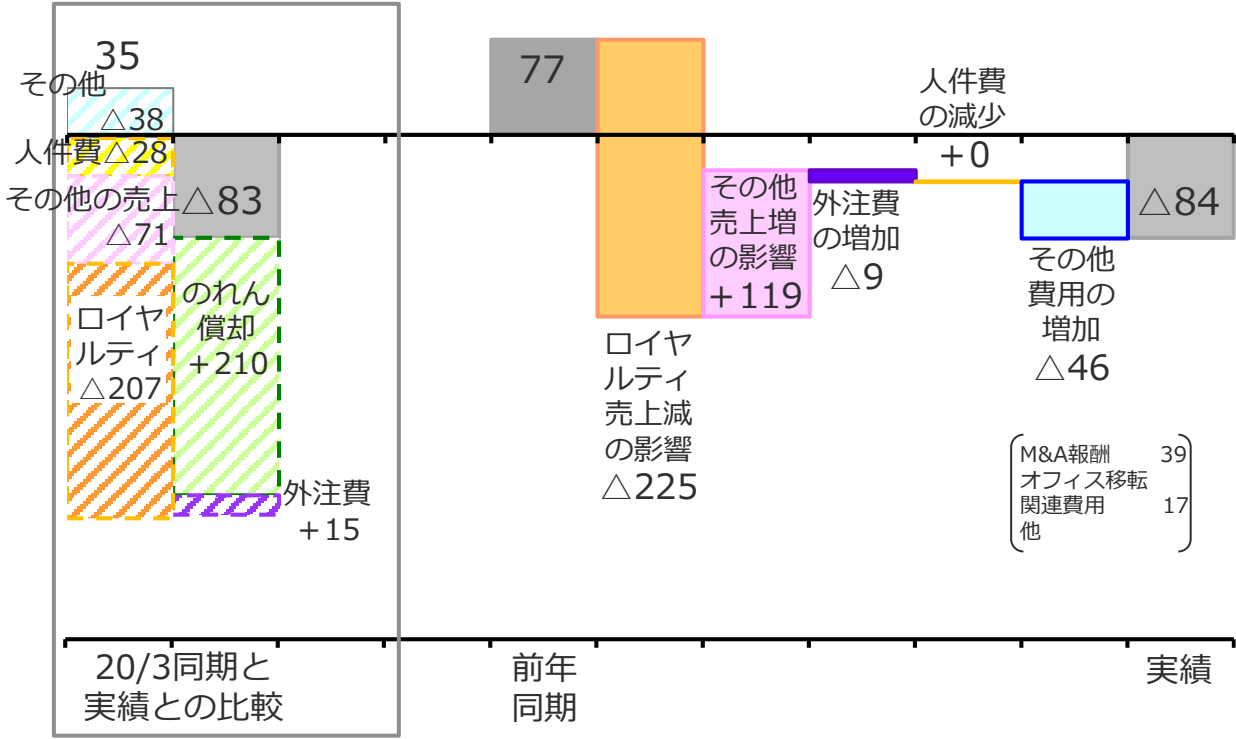
前期比：営業利益

(単位：百万円)

事業別



費目要因別

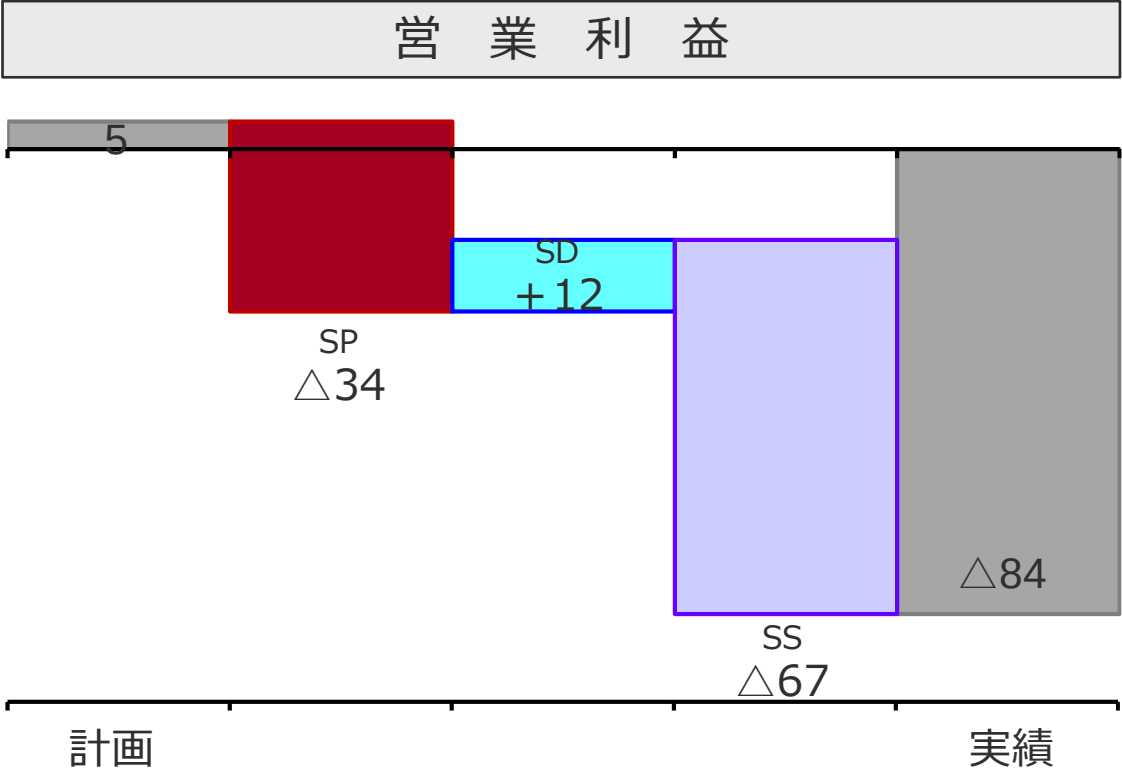
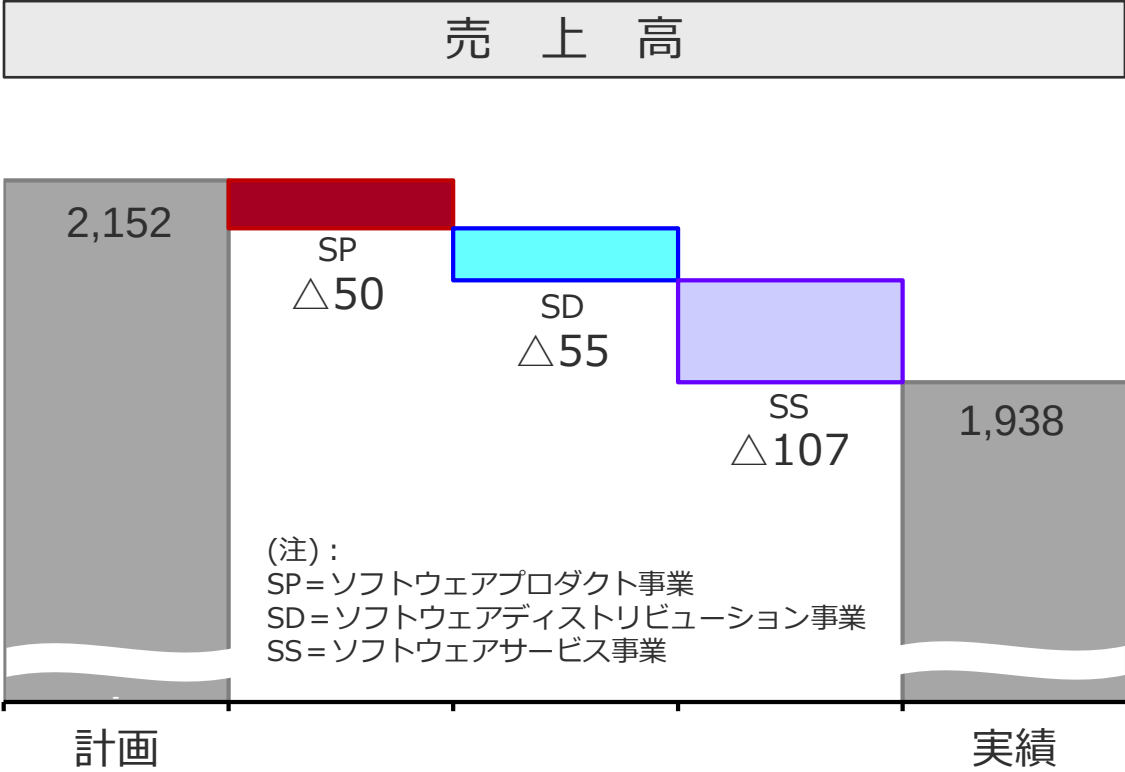


■売上高同様、22/3期を下回るが、21/3期比では改善

- ・ 前年第2四半期におけるセキュリティ関連製品の大ロイヤルティ案件売上により減少
- ・ データベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたことにより減少
- ・ SS事業のサプライチェーンへの影響による売上減に伴い減少
- ・ SD事業の一部をSP事業へ移管したことに伴い、対象部門の人件費が各部門の損益に反映
- ・ オフィス移転関連費用、並びにM&A報酬等により、その他費用が増加

計画比：売上高・営業利益（事業別）

(単位：百万円)



■売上高・営業利益：減少

- ・ 売上減少、及びM&A取得関連費用の発生により営業利益が減少
- ・ SP事業：一部顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたこと、半導体・部品不足による自動車などの販売台数の減少や顧客プロジェクトの期ずれ及び失注
- ・ SD事業：利益率の高い受託開発案件の増加、IoT機器のセキュリティ検証サービスの伸長、及び人員異動による費用減
- ・ SS事業：半導体・部品不足による自動車などの販売台数の減少や顧客事情による開発スケジュールの期ずれ等

連結損益計算書

(単位：百万円)

	23/3期	22/3期	増減	20/3期	増減
売上高	1,938	2,058	△119	2,346	△408
売上原価	1,078	1,069	9	1,226	△148
売上総利益	859	989	△129	1,119	△260
販管費	943	911	32	1,084	△140
営業利益	△84	77	△161	35	△119
営業外損益	7	13	△5	3	4
経常利益	△76	90	△167	38	△115
特別損益 ※1	△32	△70	38	-	△32
法人税等	39	60	△20	△38	77
当期純利益 ※2	△148	△39	△108	77	△225

※1. 特別損益の主なもの

・当社が保有している株式の実質価値が低下したことによる投資有価証券評価損 30百万円

※2. 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

	23/3月末	22/3月末	増減
現金・預金	1,114	705	409
受取手形・売掛金・契約資産	636	652	△16
有価証券	400	1,000	△600
棚卸資産	2	0	2
前払費用	56	43	12
その他流動資産	29	27	2
流動資産	2,239	2,428	△189
固定資産	581	546	35
資産合計	2,821	2,974	△153

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

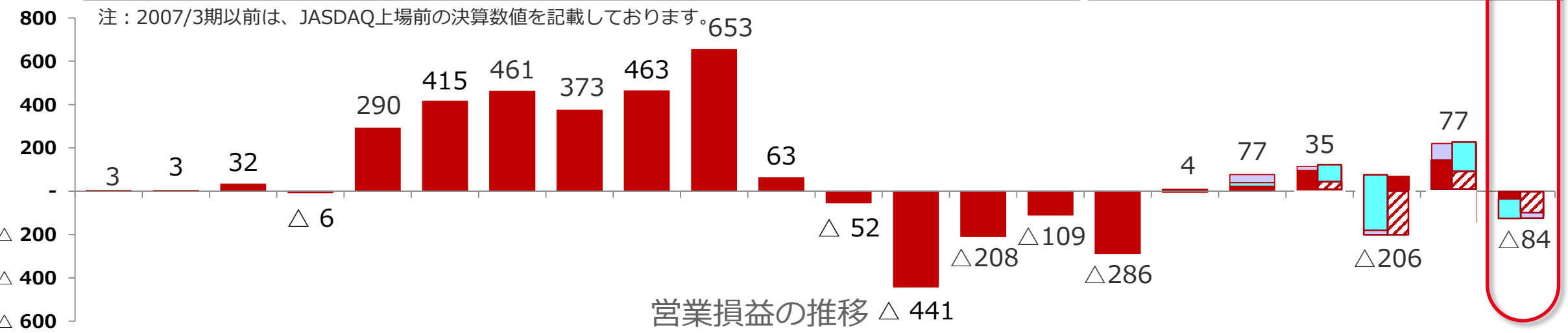
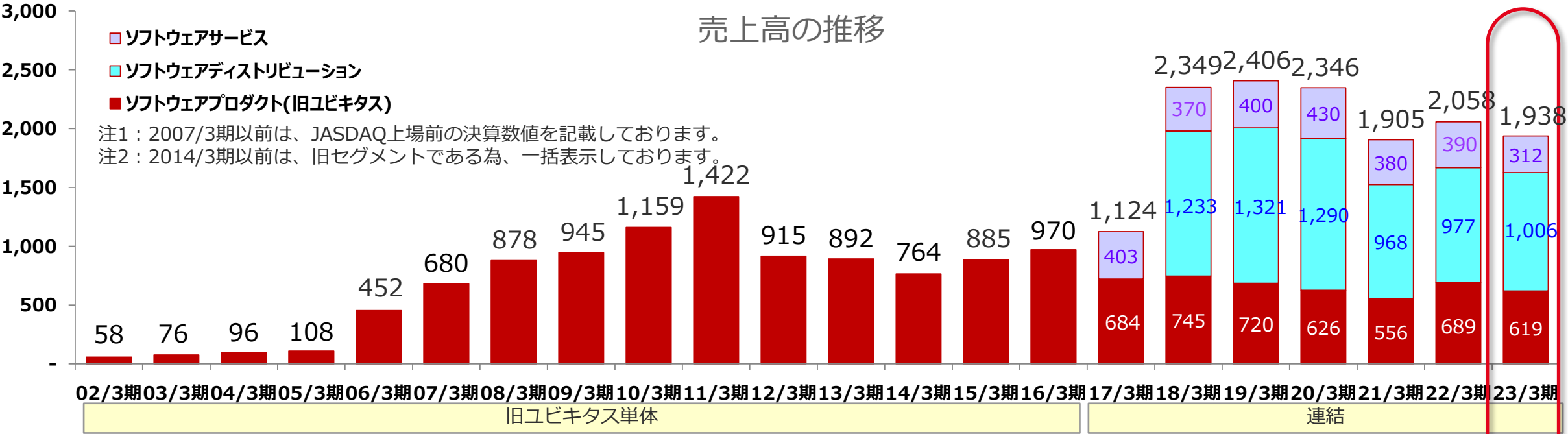
（単位：百万円）

	23/3月末	22/3月末	増減
買掛金	149	153	△4
未払金	70	32	37
契約負債	95	97	△1
その他流動負債	66	※ 164	△97
流動負債	381	448	△66
固定負債	129	84	45
資本金	1,483	1,483	-
資本剰余金	1,453	1,453	-
利益剰余金	△774	△626	△148
その他純資産	147	131	15
純資産	2,309	2,442	△132
負債・純資産合計	2,821	2,974	△153

※. 本社移転・集約に係る資産除去債務を含めて表示しています。（22/3月末 79百万円）

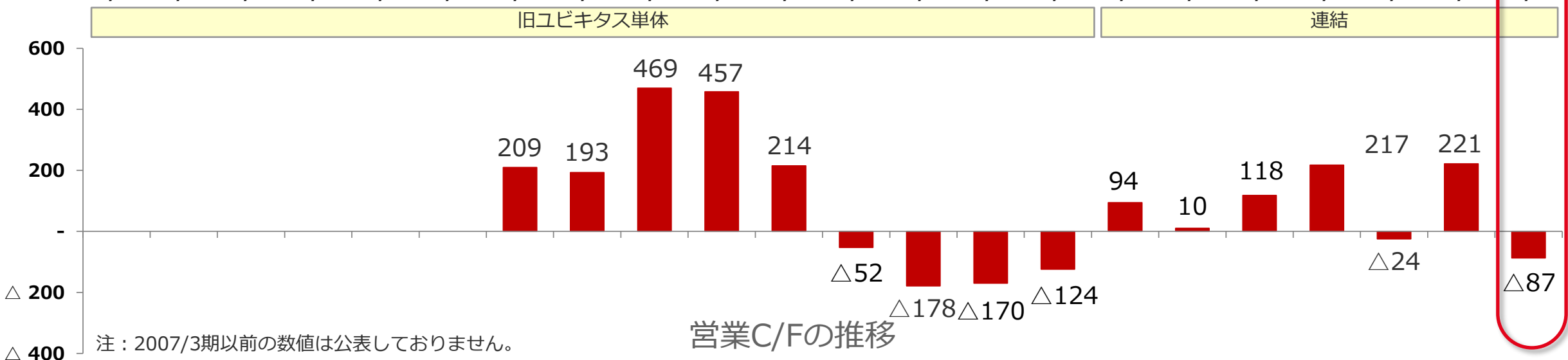
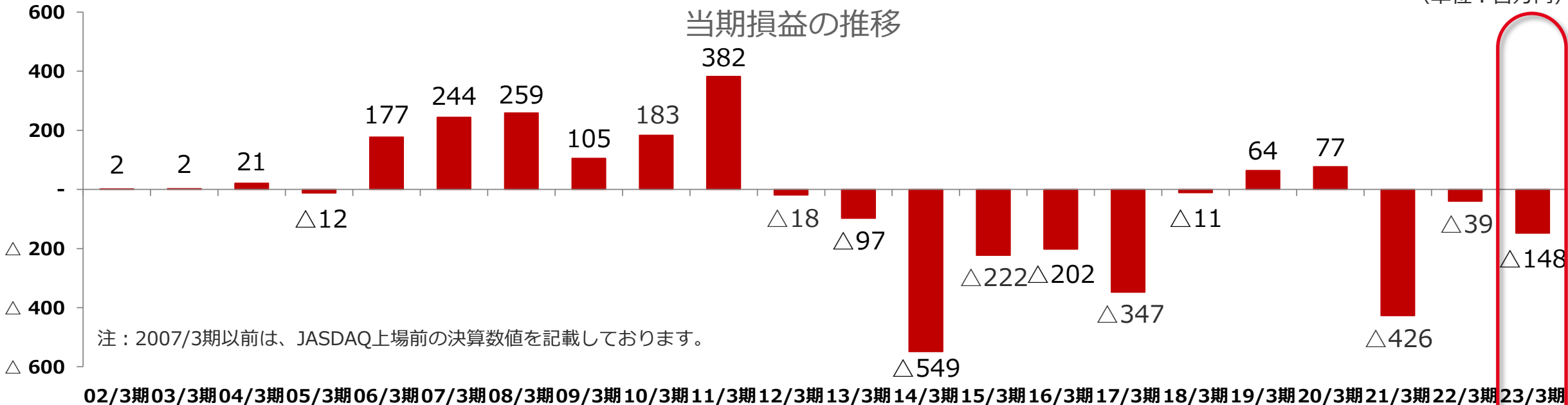
売上高・営業損益の推移

(単位：百万円)



当期損益・営業C/Fの推移

(単位：百万円)



セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

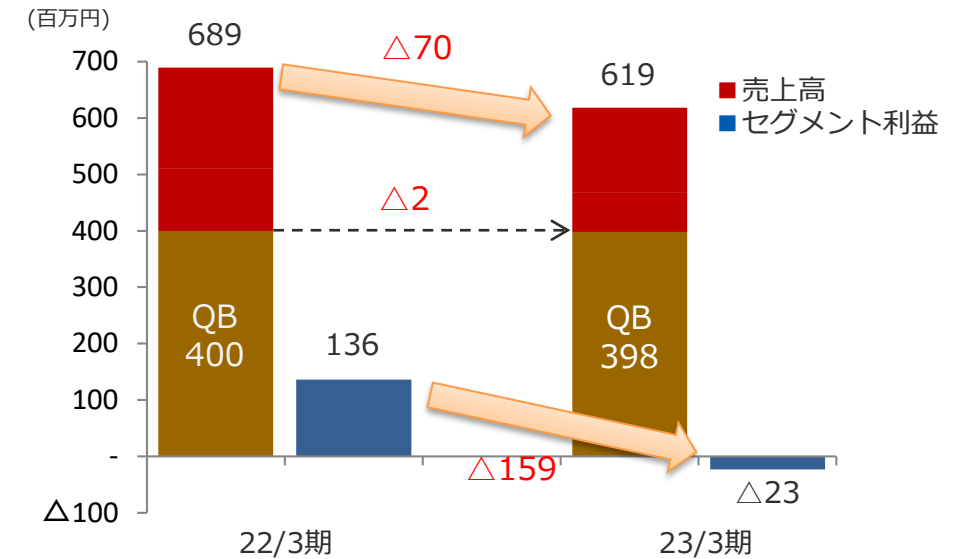
ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連

■ 当期概況

- ・ 国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- ・ カーナビ等の車載向け機器を中心に複数社との間で大・中規模の開発案件が継続中

■ 取り組み方向性

- ・ 車載情報端末以外の車載機器向けの拡販
- ・ 海外市場拡販及び必要なプラットフォーム対応の推進
- ・ 高速起動技術による電子機器の待機電力ゼロへの応用とカーボン・ニュートラル実現手段としての訴求による拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上・利益です。



ソフトウェアプロダクト事業 コネクティビティ、セキュリティ & OS関連

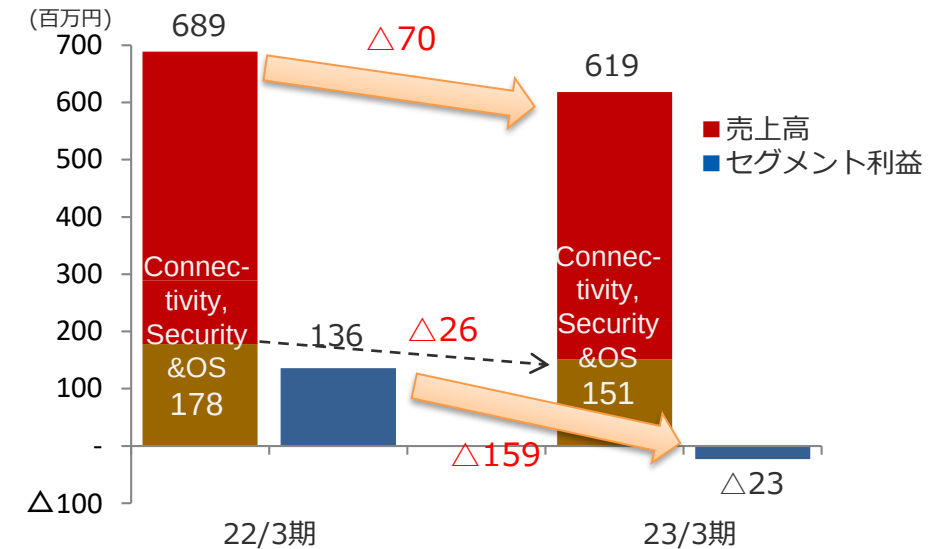


■ 当期概況

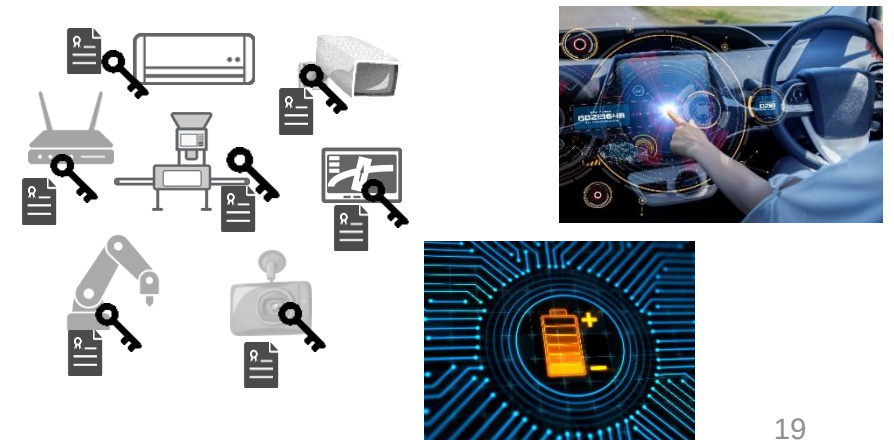
- コネクティビティ及びセキュリティ製品において、車載・HEMS関連の既存顧客からの契約時一時金売上、半導体メーカーからの受託開発売上を計上
- リアルタイムOS関連製品において、産業機器及び医療機器関連の新規顧客からの契約時一時金売上を計上

■ 取り組み方向性

- IoT機器の開発期間短縮を実現するソフトウェアパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」の拡販を推進
- リアルタイムOSの優位性である省電力を達成することによるカーボンニュートラル社会の実現を訴求
- IoT機器のセキュリティ脆弱性への懸念の高まりに伴うセキュリティ製品の価値訴求と拡販
- 自動運転の普及に伴うキャビン・エンターテインメントにおけるプレミアムコンテンツ再生のために必要なセキュリティ製品の開発・販促強化
- 次世代インターネット通信及びセキュリティ規格の普及を見据えた研究開発



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ、セキュリティ&OS関連のみの売上・利益です。



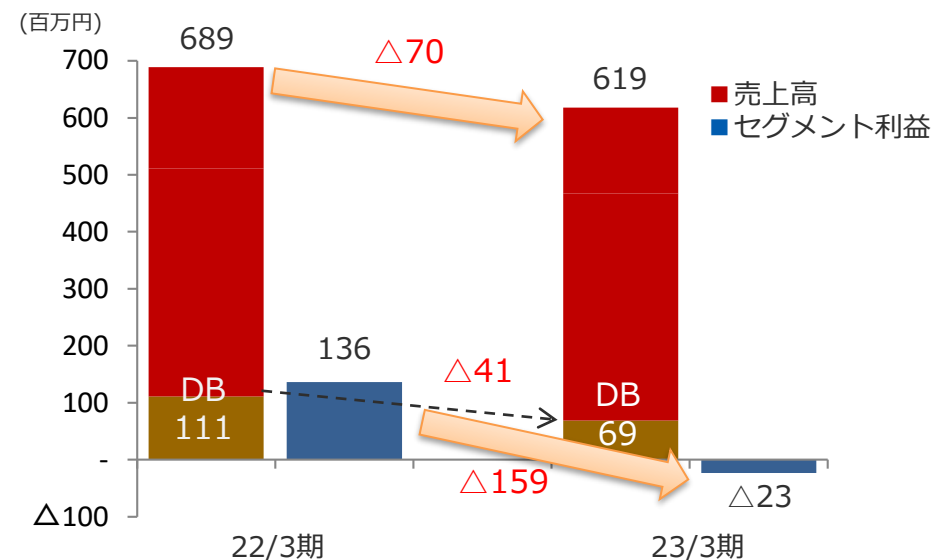
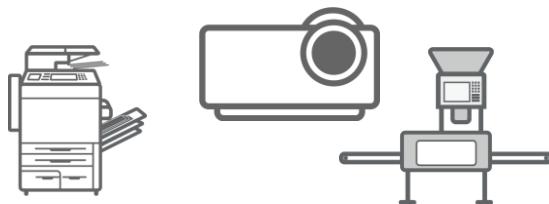
ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

■ 当期概況

- 産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取り組み方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器等に向けた拡販



(注) グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上・利益です。

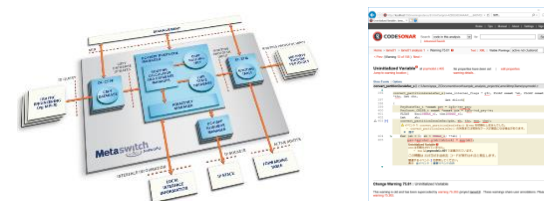
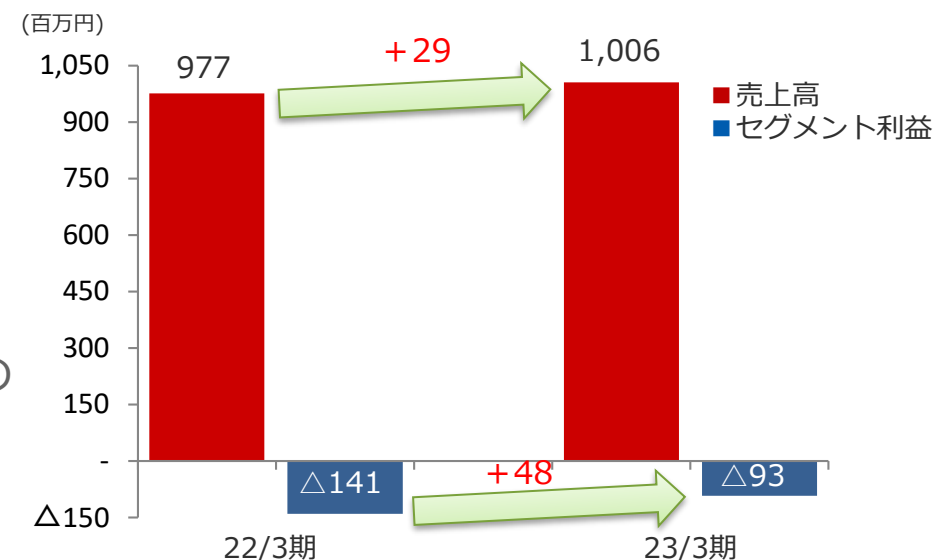
ソフトウェアディストリビューション事業

■ 当期概況

- BIOS製品「InsydeH2O[®]*₁」、ワイヤレス製品「Blue SDK*₂」、ソフトウェア品質向上支援ツール製品「CodeSonar*₃」、ネットワークマネジメント製品「ConfD*₄」等のライセンス、ロイヤルティ及び契約時一時金売上を計上
- サイバーセキュリティ対策製品「beSTORM X*₅」及びIoT機器の脆弱性検証サービスによる新規・既存顧客からの売上を計上

■ 取り組み方向性

- サイバーセキュリティ対策の需要に対応した、IoT機器の脆弱性検証ツール・サービスへの取り組み強化
- 大規模化する車載ソフトウェア開発の自動化、効率化と高品質化を実現するツール・セキュリティ製品の獲得・販売
- 高付加価値のコンサルティング・サービス及びサポートの提供による収益力の強化
- EVの普及に伴う部品の電子化加速を睨んだ製品の獲得・販売を強化



*1 InsydeH2O[®]: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*2 Blue SDK: Bluetoothプロトコルスタック

*3 CodeSonar: ソフトウェアの不具合を検出する静的コード解析ツール

*4 ConfD: オンデバイスネットワーク機器管理用ソフトウェア

*5 beSTORM X: IoTセキュリティ検証ツール&サービス

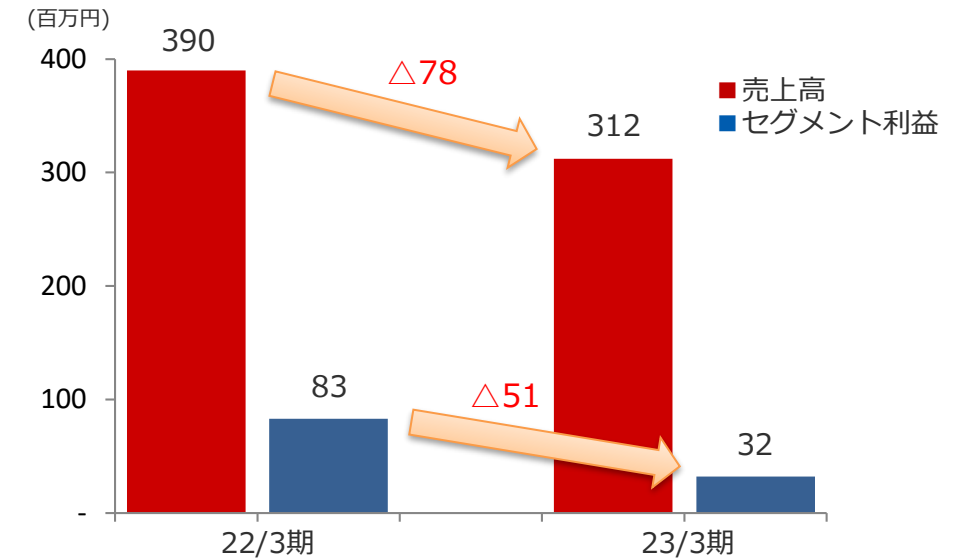
ソフトウェアサービス事業

■ 当期概況

- ・ 既存顧客からの各種受託開発売上を計上
- ・ データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上

■ 取り組み方向性

- ・ 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組み
- ・ 車載機器のCD再生機能搭載率低下による「YOMI」ライセンスの減少を補うためのストリーミングメディアなど新たな分野へのアプローチや受託開発案件の強化
- ・ 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サダマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウユキミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

2024年 3 月期業績の 業績予想と重点取り組み

中期経営計画に対する進捗



製造業顧客が必要とする
テクノロジー・サービスを提供する会社

製造業向けビジネスプラットフォームによる
「場」の提供を通じた事業成長を実現

2027年3月期目標値
売上：5,000M
営業利益：10%



新グループ会社：株式会社ライトストーン

- 会社名 株式会社ライトストーン
- 所在地 <本社> 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F
- 沿革
 - 1995年 3月 有限会社ライトストーン・インターナショナルとして創業
 - 1996年 1月 本社を東京都葛飾区に移転
 - 2001年 3月 商号を株式会社ライトストーンに変更
 - 2002年 4月 研究用ソフトウェア受託開発サービス開始
 - 2004年10月 セミナーサービスを開始
 - 2006年 6月 本社を東京都墨田区に移転、セミナールームにてセミナーの提供開始
 - 2016年10月 本社を東京都千代田区に移転
- 資本金 24,500千円（2022年1月31日現在）
- 代表取締役社長 能城 博
- 事業内容 科学技術系ソフトウェアの輸入販売及び日本語化、ソフトウェアの開発・カスタマイズ、ソフトウェアの解説書出版、ソフトウェアの操作講習・トレーニング
- 販売先 教育機関（大学・高専）、政府系研究機関、一般企業
- URL <https://www.lightstone.co.jp/>

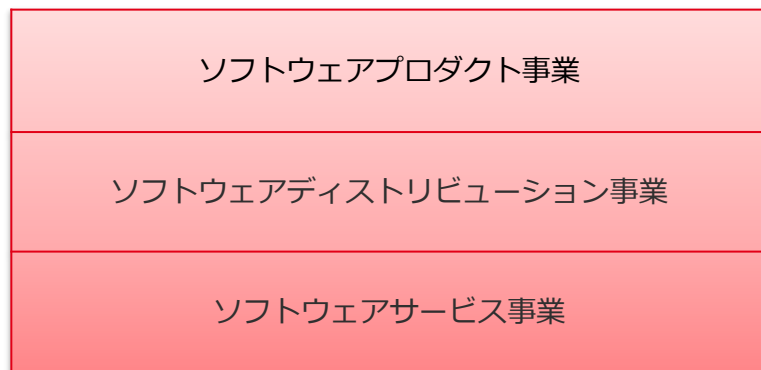
■ 取り扱い製品一覧

 グラフ作成 データ分析 Origin	 統計統計ソフトウェア Stata	 質的データ分析 MAXQDA
 計量経済データ分析 EViews	 画像解析ソフトウェア MIPAR	 AIによる予測・要因分析・多目的最適化Webサービス Multi-Sigma
 データモデル・マップ・グラフ作成 Golden Software	 地下水流/地表流/水理水文解析 GMS/SMS/WMS	 XRD解析ソフトウェア Jade
 粉末X線回折のためのDB ICDD PDF-4 / PDF-2	 粉末回折データ相関 Match	 無機化合物の結晶構造DB Pearson's Crystal Data
 結晶構造可視化 Diamond	 粉末回折から構造決定 Endeavour	 量子シミュレーション・モデリングソフトウェア RESCU+ / NanoDCL+
 計量モデルの作成ツール Limdep / Nlogit	 計量経済データ時系列分析 Estima RATS / CATS	 ファイル形式変換ソフト Stat/Transfer
 有限要素法モデル開発 FlexPDE	 生物学シミュレーション・モデリング CLIMEX / DYMEX	 行列演算プログラム言語 GAUSS
 数学・統計のコレクション Extreme Optimization		

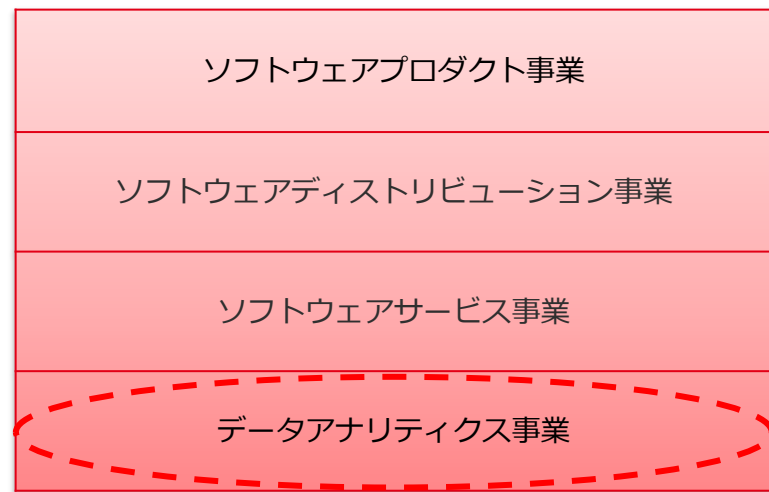
セグメント追加について

- 2024年3月期より、ライトストーン社のセグメントを追加
 - 2023年4月1日にグループ化したライトストーン社のセグメントを、「データアナリティクス事業」として追加

<旧セグメント>



<新セグメント>



2024年3月期 連結業績目標

■ 前年比

(単位：百万円)

	2024年3月期 (目標)	2023年3月期 (実績)	増減額
売上高	2,912	1,938	974
営業利益	20	△84	104
経常利益	20	△76	96
当期純利益※	5	△148	153

- － M&Aによる中期経営計画売上の確実な達成と、更なる成長に向けた積極的な投資を行う
 - ・ ライトストーン社のM&Aにより、中期経営目標の2年目としての売上目標を確実に達成する
 - ・ 営業利益は黒字計画ではあるが、利益よりも成長を優先とし、M&Aや人材獲得、研究開発に積極的に取り組む
 - ・ 高速起動製品の競争力強化に必要な研究開発投資、成長が見込めるソフトウェア開発品質向上支援ツールの取り組みの強化
 - ・ 2年目となる製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」の2025年3月期の収益化実現に向けた取り組み

2024年3月期 連結業績目標：事業別サマリー

**ソフトウェア
プロダクト事業**
売上高：602百万円

高速起動製品：既存大口顧客向けロイヤリティのピークアウトと、製品力・収益強化に必要なR&D（半導体・OS対応）により前期比減を見込む
CNS*1&OS製品：車載向けセキュリティ、スマートエナジー向け拡販を中心に前期比増を目指す
データベース製品：既存顧客の生産回復による売上増を見込む

**ソフトウェア
ディストリビューション事業**
売上高：1,110百万円

多数の製品を取り扱うメリットを生かし、拡販により売上・利益増を見込む

ソフトウェアサービス事業
(グループ会社：エイム)
売上高：380百万円

コロナ禍の影響でコンテンツライセンスビジネスへの影響が発生しライセンス収益は逡減するが、同じく影響を受けた受託開発は回復し前期からの回復を見込む

データアナリティクス事業
(グループ会社：ライトストーン)
売上高：820百万円

パッケージ製品を中心とした安定した売上により前期並みの収支を見込む

*1 コネクティビティ・セキュリティ製品

前期比:セグメント別売上及び利益

(単位:百万円)

		24/3期 (連結)	23/3期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	602	619	△16
	セグメント利益	△15	△23	8
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,110	1,006	103
	セグメント利益	△25	△93	67
ソフトウェアサービス事業	売上高	380	312	67
	セグメント利益	60	32	27
データアナリティクス事業	売上高	820	-	820
	セグメント利益	※ 0	-	0
合計	売上高	2,912	1,938	974
	セグメント利益	※ 20	△84	104

(注) ※ 株式会社ライトストーンの株式取得に関して生じるのれんの償却予想額 40百万円を含めております。

前期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

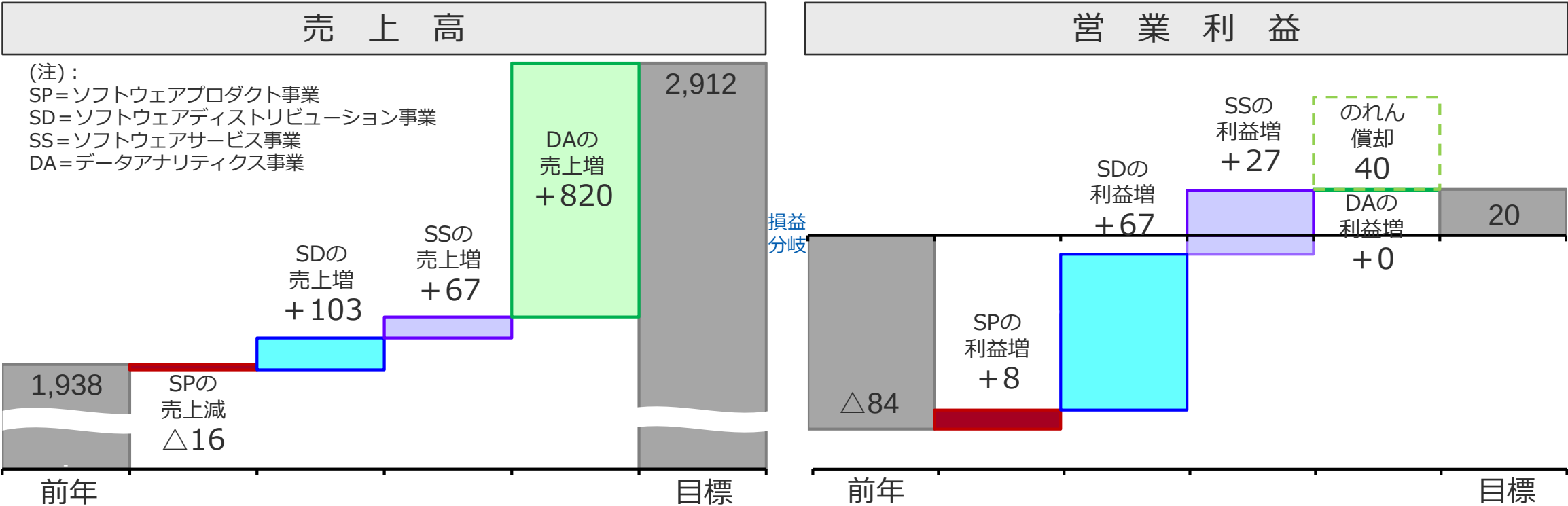
(単位:百万円)

		24/3期 (連結)	23/3期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	602	619	△16
	セグメント利益	△15	△23	8
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,110	1,006	103
	セグメント利益	△25	△93	67
ソフトウェアサービス事業	売上高	380	312	67
	セグメント利益	60	32	27
データアナリティクス事業	売上高	820	-	820
	セグメント利益	※ 40	-	40
合計	売上高	2,912	1,938	974
	セグメント利益	※ 60	△84	144

(注) ※ 株式会社ライトストーンの株式取得に関して生じるのれんの償却予想額 40百万円を含めておりません。

前年比：売上高・営業利益（事業別）

(単位：百万円)



中期経営計画修正について



製造業顧客が必要とする
テクノロジー・サービスを提供する会社

製造業向けビジネスプラットフォームによる
「場」の提供を通じた事業成長を実現

2027年3月期目標値
売上：5,000M
営業利益：10%

2023/3期

売上：1,938M
営業利益：△84M

- ・ビジネスプラットフォーム、ツール製品、QuickBoot 海外展開への先行投資

2024/3期

売上：2,400M ⇒ 2,912M
営業利益：20M ⇒ 20M

- ・ビジネスプラットフォーム、ツール製品、QuickBoot 海外展開への継続投資
- ・M&A実現による売上目標の上方修正

2025/3期

売上：3,000M
営業利益：100M

- ・M&A、資本提携含めた業容拡大
- ・ビジネスプラットフォーム、ツール製品の収益寄与
- ・QuickBoot の海外展開実現

⇒2年目の売上計画上方修正に伴い3年目の計画見直しを実施予定

トピックス

GSILがCarSim、AIC Compactと連携、ドライビングシミュレーターでAIモデルを使用した仮想ECUを検証可能に（2/7）

手戻りが少ない開発初期段階での検証を実現し、
実車でのテスト工数を大幅に削減

■開発期間の短縮やコスト削減に大きく貢献

- 次の3製品が連携し、AIモデルを使用したECUのアプリケーション検証をドライビングシミュレーター上で実行
 - 車載ECUソフトウェア開発向けシミュレーションツール「GSIL」
ハードウェア完成前にソフトウェアの動作を確認
 - 車両運動シミュレーション「CarSim」
路面、他車、歩行者、信号など複雑な条件、シチュエーションでのテストを実現
 - 圧縮AIソリューション「AIC Compact」
AIモデルの作成及びGSILとの連携が可能



<連携イメージ>

ライストーン社の株式取得、子会社化で合意（3/1）

次統計・数値データ解析ソフトウェアの販売に強み

2023年4月1日付けでユビキタスAIの100%子会社に

■ ツール製品の強化と新たな販路獲得を実現する販売連携で収益強化を目指す

- 研究開発・調査に必要なソフトウェアが新たなポートフォリオとして加わることで、主たる事業であるソフトウェア製品の売上が拡大
- 研究開発分野という新たな販路の獲得は、顧客数・セグメントの増加と一部製品のクロスセルなどによる新たな収益獲得機会も期待



顧客セグメント拡大・顧客数増加

大手電子・電気機器メーカー

教育・政府系研究機関
研究開発・調査部門

製品ポートフォリオ増加・ツール系製品強化

ソフトウェアコンポーネント



ソフトウェア開発・品質向上・支援ツール



統計・数値データ解析ツール



増加するIoT機器の通信トラフィック改善とネットワーク応答性向上を実現（3/7）

次世代通信プロトコル「Ubiquitous QUIC」を組み込み開発者向けに提供開始

■通信プロトコル「QUIC」の技術仕様に基づき組み込み・IoT市場向けQUICを自社開発

- Amazon Web ServicesはAmazon CloudFrontでQUIC対応済み。AWS IoT CoreでもQUIC対応が進むことが期待

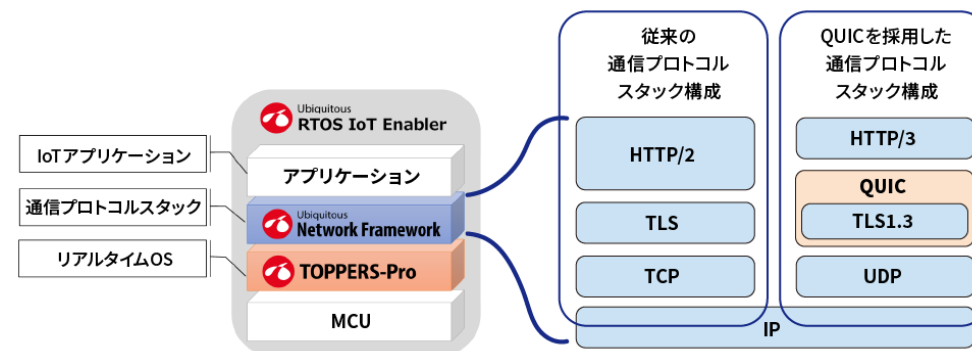
• 提供形態

- QUIC対応版Ubiquitous RTOS IoT Enabler SDK

Ubiquitous QUICを通信ミドルウェアコンポーネントのひとつとして搭載したQUIC対応版

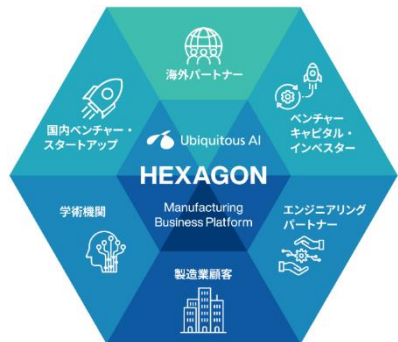
- QUICライブラリ版

QUICプロトコル単体で提供するライブラリ版



QUIC対応版Ubiquitous RTOS IoT Enablerの構成

HEXAGON Update - 取り組み状況



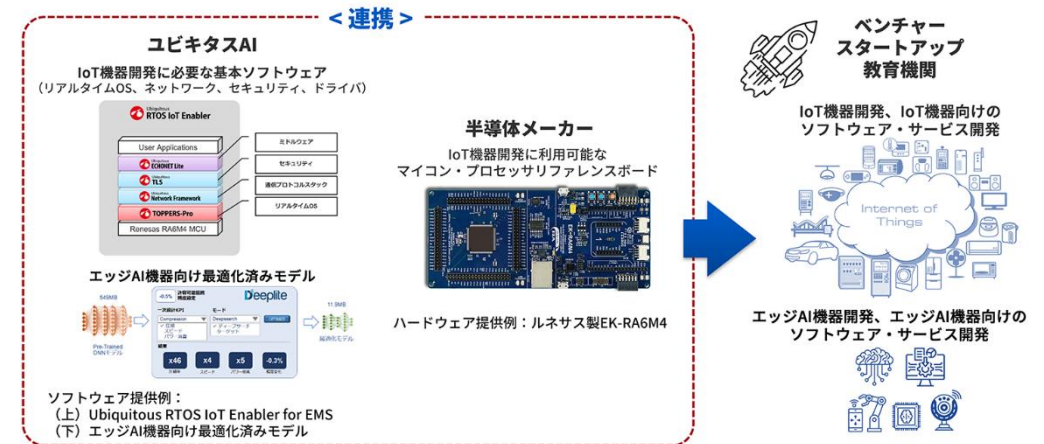
- ・賛同企業・団体：**38**（2023/4/3現在、HEXAGON発表2022/6/22, 9ヶ月、一部連携団体含む）
- ・ベンチャーキャピタル、スタートアップ支援企業からのご紹介によるスタートアップとの販売提携・事業連携が進行中
- ・将来的な賛同・連携を視野に入れた学術機関との連携協議を実施中
- ・スタートアップの製品・サービス販売を10月より開始（発表前実施済みを除く）



「HEXAGON」にルネサスが参画し、ベンチャー、スタートアップや教育機関の活動を支援（1/10）

商用品質のソフトウェアとハードウェアの包括的な支援で
イノベーション創出に貢献

- **最初の取り組み成果として「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」とルネサスの「MCU」や「MPU」を組み合わせた開発キットを提供**
 - 商用レベルの高品質&高性能のソフトウェア及びハードウェアを包括的に提供
 - ベンチャー、スタートアップ、教育機関の研究開発、実証実験（PoC）や演習プログラム用などの幅広い層でこの開発キットを始めとするソリューションが活用され、日本のものづくりを支援できることに期待



＜ソリューション提供イメージ＞

AI学習・AIサイズ圧縮・運用サイクルの自動化を実現する AIBOD社のMLOpsツール「AIC Compact」 (1/17)

ハイスペックPC不要、
特別な専門知識を持たない現場担当者でもAI活用が可能に

■コンパクト化した先端AIをエッジや組み込みで活用

- 現場でAIを使用する上で必要な「AI学習」「AIサイズ圧縮」「運用サイクルの自動化」を行うMLOpsツール
- 現場での学習データをフィードバックして再学習するフローを自動化。AIの専門家や技術者ではない現場担当者でもAIの管理と運用が可能
- AIC Compactを使って圧縮したAIモデルは、低スペックのエッジデバイス上で実装・推論ができるので低コストでエッジAIの開発、運用が可能



<AIC Compact利用イメージ>

製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」 新たに賛同企業1社のサービスの取り扱いを開始（1/31）

企業の「らしさ」を言語化・見える化するブランディングとアウトドア研修

■エンカレッジ株式会社

- **企業理念再構築コンサルティング**

企業の成長につながる理念（ミッション・ビジョン・バリューなど）の策定から、浸透活動までをトータルサポートします

- **アウトドア研修（人材育成）**

アウトドア環境での体験型アクティビティを通じてチームビルディング、リーダーシップトレーニング、コミュニケーションを体験・育成します。

- **人事評価制度策定・運用支援**

人事評価制度の策定と策定後の目標設定・フィードバック・評価フローの運用サポート・定着を支援します。

ユビキタスAIと株式会社ハートビーツが業務提携（2/21）

重要ファイル転送プラットフォーム『Kozutumi』に関する
販売代理店契約を締結

ユビキタスAIとハートビーツの販売連携で企業の脱PPAPを推進

■重要ファイル転送プラットフォーム「Kozutumi（こづつみ）」

- ブラウザベースで簡単に導入できるビジネス向け「ファイル転送サービス」
- インプルで直感的なUI
- タイムスタンプによる内容証明
- サイバーリスク保険が自動付帯
- Google/MicrosoftでSSO
- Teamsアプリ対応



ウエストユニティと産業用スマートグラスの「InfoLinker遠隔支援ソリューション」販売&事業連携について合意（2/28）

最先端技術でDXを推進

両社の技術とHEXAGON賛同企業製品・サービスとの連携による新たな価値の実現を模索

■スマートグラス×遠隔支援による現場のDX

- 「InfoLinker遠隔支援ソリューション」とは
 - －LTE搭載スマートグラス「InfoLinker3」
 - －遠隔支援サポートツール「LinkerWorks」
- 「InfoLinker3」の遠隔臨場と「LinkerWorks」の遠隔支援を利用して、拠点にいる熟練者や指導者がスマートグラスを装着した作業員に映像や音声でリアルタイムに作業指示や指導を行うことで現場のDX化を実現。



ZETANE Systems社と販売代理店契約を締結（3/8）

AIのロバスト（信頼）性向上支援ツール

「ZETANE Protector」「ZETANE Insight Engine」を3月8日に提供開始

■AIの弱点を特定・改善し、AIの予想外を防止

• ZETANE Protector

AIのロバスト性向上支援ツール。ツール内で80以上のロバスト性検証が可能。再現した条件下でAIの精度劣化したデータを特定、再学習させることでAIのロバスト性が向上。

• ZETANE Insight Engine

効率的なAI開発を実現するニューラルネットワーク可視化ツール。内部のテンソル、レイヤーの出力、フィーチャーマップ、重み、アーキテクチャを可視化。



ZETANE社のソリューションを用いた開発

製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」に 新たに4つの企業・団体が賛同（3/31）

HEXAGONの賛同企業・団体は計38企業・団体に

■新たな4つの賛同企業・団体

- IDATEN Ventures合同会社
- 株式会社Citadel AI
- 宝印刷株式会社
- Biodata Bank株式会社



Appendix

2023年3月期 第4四半期 開示一覧

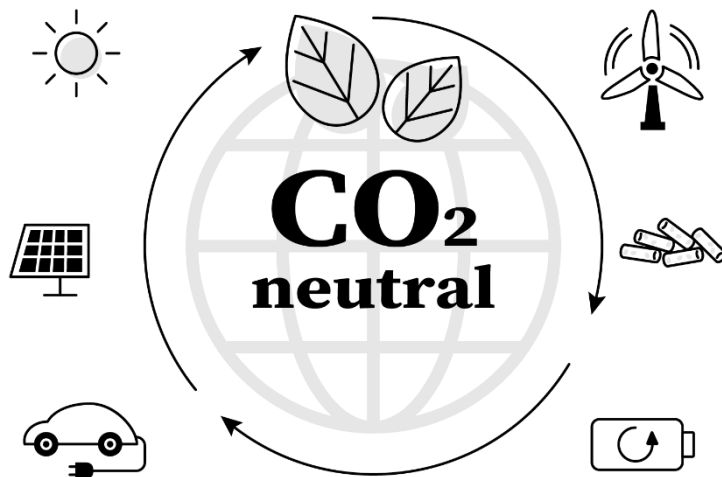
発表日		プレスリリース
第4四半期	1月10日	■「HEXAGON」にルネサスが参画し、ベンチャー、スタートアップや教育機関の活動を支援 商用品質のソフトウェアとハードウェアの包括的な支援でイノベーション創出に貢献
	1月17日	■ AI学習・AIサイズ圧縮・運用サイクルの自動化を実現するAIBOD社のMLOpsツール「AIC Compact」を提供開始 ハイスpekPC不要、特別な専門知識を持たない現場担当者でもAI活用が可能に
	1月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」へ新たに4つの企業・団体が賛同 「HEXAGON」への賛同企業・団体は計31企業・団体に
	1月31日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」新たに賛同企業3社のサービスの取り扱いを開始 企業の「らしさ」を言語化・見える化する「ブランディングとアウドドア研修」（エンカレッジ社）
	2月7日	■ GSILがCarSim、AIC Compactと連携、ドライビングシミュレーターでAIモデルを使用した仮想ECUを検証可能に 手戻りが少ない開発初期段階での検証を実現し、実車でのテスト工数を大幅に削減
	2月21日	■ 重要ファイル転送プラットフォーム『Kozutumi』を提供するハートビーツ社と業務提携 ユビキタスAIとハートビーツの販売連携で企業の脱PPAPを推進
	2月28日	■ ウエストユニティス社と産業用スマートグラス「InfoLinker遠隔支援ソリューション」の販売及び事業連携について合意 両社の技術及びHEXAGON賛同企業製品・サービスとの連携による新たな価値の実現を模索
	3月1日	■ ライトストーン社の株式取得、子会社化で合意 統計・数値データ解析ソフトウェアの販売に強み、ツール製品の強化と新たな販路獲得を実現する販売連携で収益強化を目指す
	3月7日	■ 次世代通信プロトコル「Ubiquitous QUIC」を組み込み開発者向けに提供開始 増加するIoT機器の通信トラフィック改善とネットワーク応答性向上を実現
	3月8日	■ ZETANE Systems社と販売代理店契約を締結 AIのロバスト性向上支援ツール「ZETANE Protector」「ZETANE Insight Engine」を提供開始
2024/3期 第1四半期 (参考)	4月25日	■ 多言語ミーティングを支援する 議事録DXサービス『One Minutes』を提供するquintetが、「HEXAGON」に賛同し販売連携による協業を推進 ユビキタスAIとquintetの販売連携で、多言語ミーティングにおけるコミュニケーションと議事録作成の支援対象が更に拡大
	4月28日	■ 製造業向けビジネスプラットフォーム「HEXAGON」に新たに4つの企業・団体が賛同 HEXAGONの賛同企業・団体は計41企業・団体に

注力テーマ：カーボンニュートラルへの貢献

2030年には300～400億台が普及していると言われるIoT機器において、当社の提供する技術・商品が1台あたりの電力消費を抑えることによって膨大な電力量の削減につながりカーボンニュートラル社会の実現に貢献



起動時間を短縮するために機器の電源を完全に切ることが出来なかった問題を、高速起動ソリューション QuickBootによる起動時間短縮によって待機電力ゼロを実現。



組み込みLinuxベースで設計されたIoT機器をリアルタイムOSベースのRTOS IoT Enablerに置き換えることによって省リソースで動作する省電力のシステムを実現。



肥大化したAIのモデルを最適化することでCPUやGPUの稼働率低減に寄与。対象によってはGPUが不要となり、一層の電力使用量の削減を実現。

AI技術で通信データを圧縮し、通信時に発生する電力量を抑制。



注力テーマ：進化する自動車開発に必要な製品ラインアップの充実

CASE (Connected、Autonomous、Shared & Services、Electric) への進化を幅広いソフトウェアソリューションでサポート

インフォテインメント/情報系ソフトウェア開発

高速起動

Ubiquitous QuickBoot

コネクティビティ

Ubiquitous Wi-Fi SDK

Bluetooth SDK (BlueSDK)

USBプロトコルスタック (HE-USB)

ハイパーバイザー

COQOS Hypervisor SDK / SafeG

セキュリティ/暗号ライブラリ

Ubiquitous Securus

Ubiquitous DTCP / HDCP

Ubiquitous TPM Security

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

ドライバーモニタリング

CoDriver

ストレージ

Ubiquitous DeviceSQL

電断対応ファイルシステム

(Reliance Nitro/FlashFX)

SD/SDIOドライバ

スマートフォンミラーリング

Ubiquitous Miracast SDK

Mirroring SDK

社内ボイス環境構築

車載専用ノイズ/エコーキャンセラー
(BdSound S2C-A)

インフォテインメント

Gracenote CDDDBポーティングサービス

YOMIデータコンテンツライセンス

OTAアップデート

OMA-DM、LWM2M クライアント

ECU/制御系ソフトウェア開発

車載ネットワーク/ECU向け

ISO26262 ASIL-D対応車載統合ECU向け

ハイパーバイザー (COQOS Micro SDK)

暗号ライブラリ (HE-CRYPTO)

TLS (Ubiquitous TLS、HE-TLS)

IPSec (HE-IPSec)

品質向上支援/開発支援ツール

ランタイムエラー静的検出ツール (CodeSonar)

ソフトウェアコンポジション解析 (CodeSentry)

ECUタイミング検証 (chronSUITE)

カバレッジ測定 (Testwell CTC++)

ECU開発シミュレーションツール (GSIL)

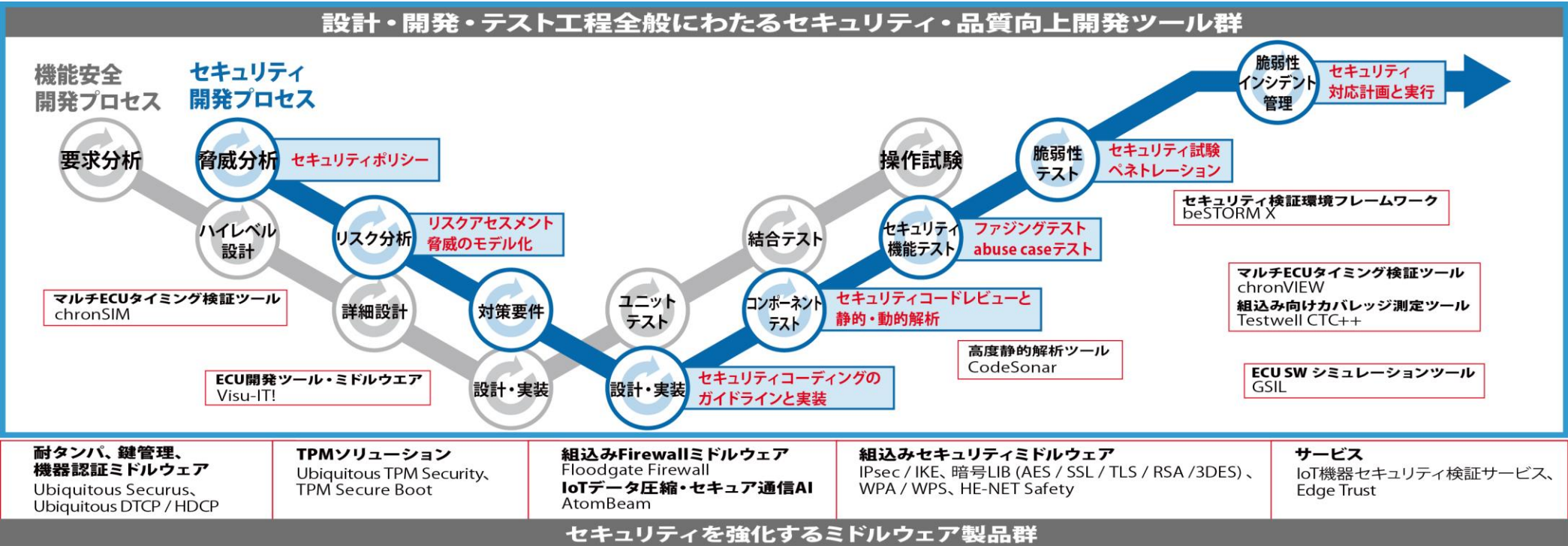
ECU変数管理システム、ミドルウェア (Visu-IT!)

セキュリティ脆弱性検証フレームワーク (beSTORM X)

注力テーマ：IoTセキュリティ需要への対応

サイバーセキュリティ対策のために必要な、製品開発プロセス全体をカバーする様々なセキュリティソリューションが現在と将来の課題を解決

- コード解析・品質向上ツール
- 脆弱性検証ツール・サービス
- ECU開発シミュレーションツール
- 暗号化ライブラリ
- デバイスライフサイクルマネジメントサービス



注力取り組み：AI関連製品

エッジAI関連製品ラインアップの強化

brighter AI

	元画像	従来のセグメンテーション	高精度セグメンテーション	次世代型セグメンテーション
AI画像処理	人との顔	検出不可	検出不可	検出可能
AI判定の例	年齢	20~25	不明	不明
	性別	女性	不明	不明
	マスク装着状況	検出不可	不明	検出可能
	プライバシー	検出不可	検出可能	検出可能

AI画像処理に利用可能な映像匿名加工

PROFET AI



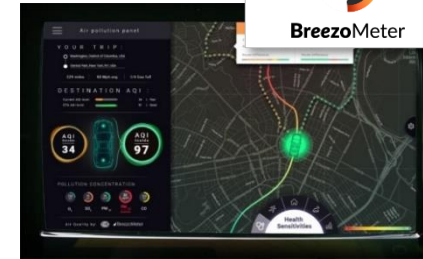
AIモデル構築・調整を自動で最適化

JUNGO



ディープラーニングで事故防止

BreezoMeter



AIによる大気質解析

Deeplite



ディープラーニングモデル最適化

DARWIN AI



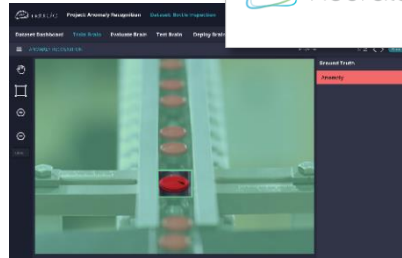
AIでディープラーニング開発を促進

EKIONO AI



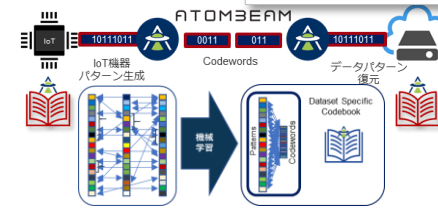
自己学習が可能なエッジAI

neurala



AIによる外観検査プロセス自動化

ATOMBEAM



AI特許技術でデータ伝送量削減

ZETANE



AIのロバスト性向上支援

幅広い分野に向けて、用途に応じた最適な商材を提供

注力取り組み：AI関連

海外パートナー製品に加え、AIスタートアップ・ベンチャーとの連携により取り組み強化を推進中

海外パートナーの充実した組込み向けAIソリューション

外観検査 ディープラーニング開発 自動運転・ADAS
DX向け機械学習 映像匿名化 ロバスト性向上
大気質解析 タッチレスUI データ伝送量削減



国内AIスタートアップ・ベンチャーとの連携強化

Machine Vision AIプロフェッショナルサービス
ML Ops DXデバイス 音声認識
AI/DX人材育成・経支援営 レコメンデーション



海外の充実した製品群に加え、国内スタートアップ・ベンチャーとの連携によりプロフェッショナルサービスも含めて顧客支援体制を強化



Ubiquitous AI